

仙台まちづくり若者ラボ 最終報告会

チームC : We can PingPong

メンバー紹介

丹野裕太 (メンター)

亀山勇太

山田千妃呂

柏木康平

須ヶ間博

遠藤綾乃

柴田嶺

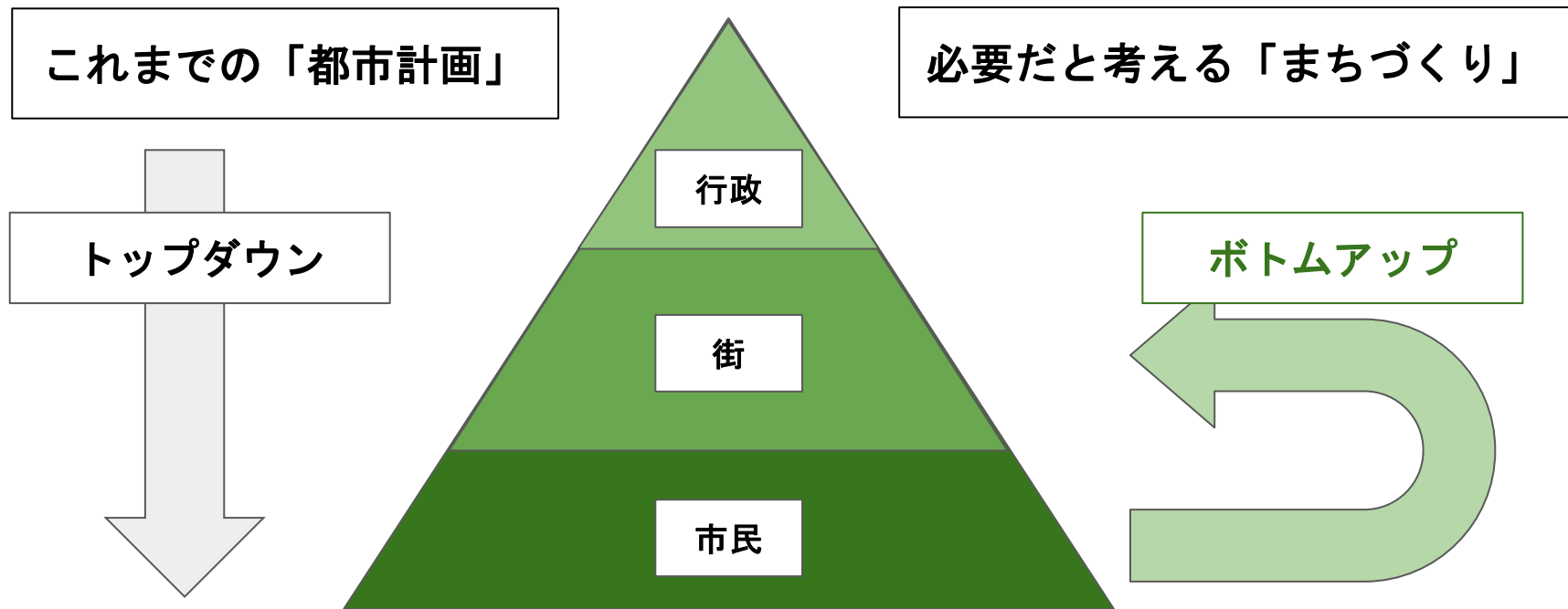
曾廷庭



各市民が、**やりたいことができる街**にする。

テーマ「やりたいことができる街」を決めた背景①

トップダウン色の強い「都市計画」だけでなく、ボトムアップの「まちづくり」を両立させることで、より市民が集う街にできると考えたから。



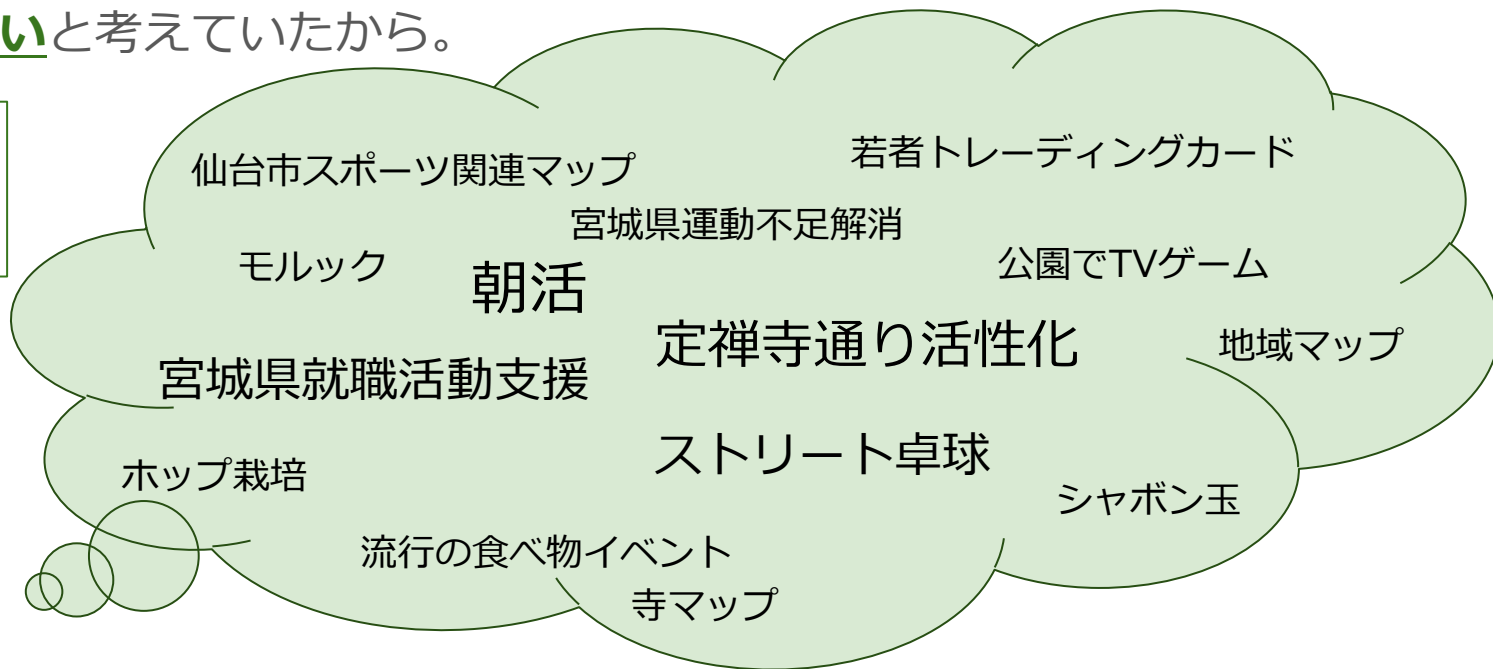
テーマ「やりたいことができる街」を決めた背景②

私たちそれぞれがやりたいことを漠然と持っているにも関わらず、皆が実現が難しいと考えていたから。

Q. やりたいことは？
(グループCでの
アイデア出し)



私たち



何か実行するにあたって何が課題になるかわからない。
まず最初に、ハードルの低い「朝活」の実施を試してみよう。

フィールドワーク1 「私たちだけでの朝活」

朝活の概要

一緒に新聞を読みましょう！

時間：2022年8月22日 7:30～

場所：河北新報社

参加者：

対面：丹野、山田、須ヶ間、柴田、曾

オンライン：亀山、柏木、遠藤



フィールドワーク1の結果

■感想

- ・朝から有意義な時間を過ごせた
- ・仲間がいれば、楽しんで続けられる
- ・オンライン参加者にとって、收音の問題などやはり難しい

■考察・仮説・・・市民がやりたいことをやるには、下記3点が課題ではないか

- ・集める人（主催者）がいるか？
- ・集まる人（参加者）が多くいるか？
- ・開催場所があるか？

⇒既存の取り組みがどう解決しているのか確認する

フィールドワーク2 「既存朝活への参加」

仙台ゆる〜り朝活

参加日 2022/8/23(火)

時間 8:30 ~ 10:00

参加者 柴田、遠藤

場所 エクセシオールカフェ
仙台中央通り

主催者 .meet (ドットミート) 様



数名でグループを作って、順番に色々な人とお話をしていました。社会人の方が多く、今まで関わった事のない職業のお話などが聞けて面白かったです！

フィールドワーク2の結果

■考察・仮説・・・3点の課題に対して下記のように取り組んでいる

・集める人（主催者）がいるか？

→△ あくまで自主的取り組み。

・集まる人（参加者）が多くいるか？

→○ こくちーズプロ、ジモティー等のプラットフォームを利用することによって参加者を多く集めることが可能

・開催場所があるか？

→△ カフェ等は利用可。他屋外等は不明。

既存の屋外での取り組みがどのような形で実現しているのか確認しよう！

⇒仙台市へヒアリング実施

フィールドワーク3 「仙台市ヒアリング」 10/21(金)参加者：丹野・柏木・山田

対象者：仙台市都市整備局 市街地整備部都心まちづくり課 目黒さん・小林さん

テーマ：青葉区肴町公園社会実験の主催者に自分たちがやりたいことの実現可能性を問う

ポイント1 ▶ 仙台市内の公園は、申請すればできることが多い！

例：公園で卓球がしたい！ → 卓球台の設置管理許可が必要 → 仙台市へ申請

判断 正当な**利用** ▶ 短期的かつ公平な利用

基準： ⇔ 長期滞在や他人の利用を妨げる利用

正当な**理由** ▶ 市民にとって必要だと思える理由

例：「健康づくりとして卓球がしたい」



フィールドワーク3 「仙台市ヒアリング」 10/21(金)参加者：丹野・柏木・山田

対象者：仙台市都市整備局 市街地整備部都心まちづくり課 目黒さん・小林さん

テーマ：青葉区肴町公園社会実験の主催者に自分たちがやりたいことの実現可能性を問う

ポイント2 ▶ 市民の多くは受益者！

市民がまちづくり活動を行うには、大きく2つの壁がある

やりたいことが
または、あるだけ
実現できると思
ない。(市民=受

マインドの壁

(受益者の関心)

課題：いかに「できる」と思わせるか

⇔現状解決法無し

(イベント主催に関して関心を引くことが
重要?)

やりたいことが
実現したいと思
画実行に苦労し
集める人=主催

ハードの壁

(場所、人の確保)

課題例

：場所をいかに用意するか

⇔大義名分を用意することで解決可能

：参加者の確保

⇔プラットフォームの活用など

イベントの
実施へ

私たちがやりたいこと「ストリート卓球・朝活・モルック」

目的

取り組みを見ることで、
マインドの壁を破壊し、
もしかしたら自分も...?
と思わせることが必要

やりたいことを実現したいが
企画実行に苦勞している人
「集める人(主催者)」

イベント実施
(やりたいことの実現)

マインドの壁

課題：いかに自分にも「できる」と思わせるか

⇔現状解決法無し

ハードの壁

課題：場所をいかに用意するか

⇔大義名分を用意することで解決可能

課題：参加者の確保

⇔プラットフォームの活用など

私たちがやりたいこと「ストリート卓球・朝活・モルック」

期待される効果

やりたいことが見つかる
やりたいことがあ
実現できると思っ

壁を破壊

ことを実現
している
人(主催者)

周囲に
「やればできる！！」
という前向きな影響を与える

マインドの壁

課題：いかに「できる」と思わせるか

⇔私たちが実践していく

ハードの壁

課題：場所をいかに用意するか

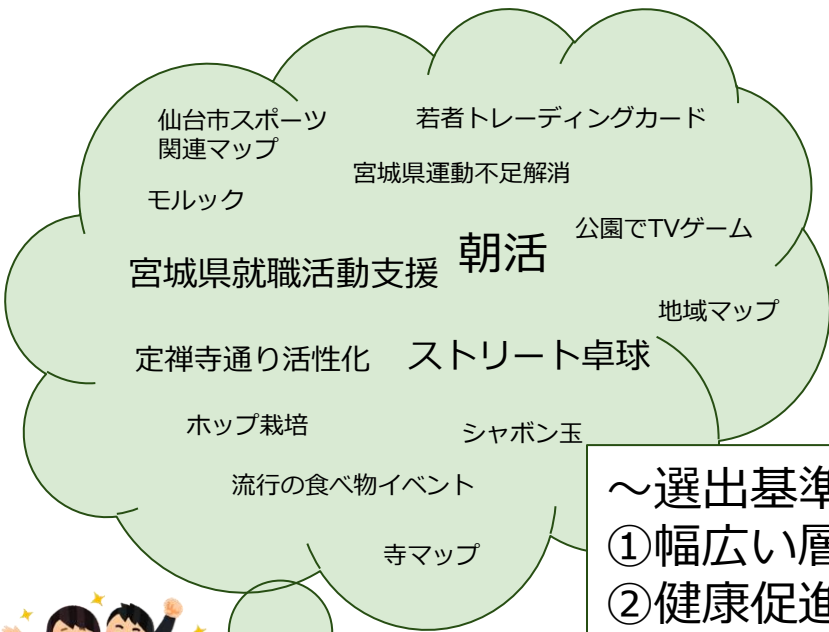
⇔大義名分を用意

課題：参加者の確保

⇔プラットフォームの活用

私たちがやりたいこと「ストリート卓球・朝活・モルック」

取り組み内容（なぜ朝活・卓球・モルック）



卓球



朝活



モルック

～選出基準～

- ①幅広い層が楽しめる
- ②健康促進
- ③省スペース
- ④低予算



私たち

We can PingPong

子供、大人、障害者、健常者
関係ないコミュニケーション



圧倒的省スペース
(4m×3m)

卓球＝仙台
張本智和選手、福原愛選手

We can PingPong

・今後の日程

| | |
|--------|--|
| 12月～1月 | 実施場所の検討（私たちだけorイベントに参加） 実施内容の詳細検討（どのような形で実施するか） |
| 2月 | 実施への段取り（必要な申請を行うなど） |
| 3月 | 告知 |
| 4月 | ストリート卓球の実施 |

市民の“やりたい”が実現できる街に

ご清聴ありがとうございました